

Phono Stage

ANDROMEDA

Owner`s Manual



constellation audio

ANDROMEDA フォノプリアンプ ご使用上の注意点 (これだけは最初にお読みください！)

設置に関する注意点

- 最高のパフォーマンスを発揮するようにしっかりとした水平な場所に設置してください。

セットアップ時の注意点

- すべての配線が完了するまで、メイン電源（電源部背面）はオンにしないでください。メイン電源がオンの状態で、ケーブルの抜き差しをおこなうと、静電気による悪影響により回路が破損する可能性がまれにあります。
- また、ご使用中にケーブルの抜き差しを行う場合には、必ずメイン電源をオフにしてから行ってください。

製品の保証について

製品の品質管理につきましては万全の体制を取っており、厳密な検査を経て出荷しておりますが、万一製品上の不備による自然故障が生じましたら弊社の保証規定に基づき、保証期間内であれば、保証書をご提示いただくことにより無償にて修理をさせていただきます。

製品の保証は、正規販売店より新品の状態でご購入いただいた場合に限りさせていただきます。第三者よりの譲渡、あるいは中古品でのご購入による場合は、保証の適用対象となりません。この場合は保証登録カードにご記入・ご返送いただいても保証書を発行することはできませんので、あらかじめご了承ください。

尚、保証期間内であっても、保証書記載のご氏名と異なる方がご使用になっている場合には保証は適用されません。

保証書の発行について

お手数ですが、同梱しております保証登録カードに必要事項をお書きの上ご投函ください。弊社にてご愛用者登録を行ない、同時に保証書を発行させていただきます。保証書が発行されていないと、保証期間内であっても有償修理とさせていただきます。大変お手数ですが、保証登録カードのご返送を忘れないようお願いいたします。

尚、保証登録カードのアンケート項目にも、もれなくご記入くださいますようお願いいたします。お寄せいただきましたアンケート、ご意見、ご感想は、わたくしどもの貴重な資料として今後の弊社のサービス向上に役立たせていただく所存でございます。

修理、アフターサービスの御用命について

修理、アフターサービスの御用命は、お買い上げいただいた販売店にお申し付けください。

個人情報の取り扱いについて

弊社では、お求めいただいた高価な製品を末永くご愛用いただくために、アフターサービスをご提供する目的で、製品に付属の「保証登録カード」にご記入・ご送付いただいたから「保証書」を発行するという方式を採用しております。お手数ではございますが、何卒主旨をご理解のうえご協力を賜りますようお願いいたします。

尚、「保証登録カード」にご記入、ご返送いただいたお客様を識別・特定し得る個人情報につきましては、弊社にて適切に管理することを社会的責務として重要と考え、下記の基本方針に基づき、お客様情報の保護、管理を徹底することを誓約いたします。

「保証登録カード」にご記入いただいたお客様情報の利用目的について

当社が得たお客様情報は、以下の目的以外には利用いたしません。

- お客様へのアフターサービス業務の基礎資料として
- 弊社より発信するダイレクトメール等情報のお届けのため

お客様情報の管理について

当社はお客様情報を取り扱う管理責任者を置き、紛失、漏洩、不正な第三者提供などが無いよう、お客様情報の取り扱いに十分な注意を払います。

収集したお客様情報の第三者への提供、開示について

収集したお客様情報を、お客様のご許可なく弊社以外の第三者に提供することはありません。但し、お客様と当社間で製品の配送等のために、お客様に明示することなく委託業者に対しお客様情報の一部を開示することがございますが、利用目的の必要範囲内に限定してこれを行います。尚、この場合にあっては委託業者に対し、お客様情報を他の目的に使用、もしくは開示しない義務を履行させるべく対応します。

情報発信の停止とお客様情報の削除について

弊社では、製品をご愛用いただいておりますお客様に、新製品やイベントの情報等を郵便や電子メールにより発信させていただくことがあります。ご不要の場合にはお客様からのお申し出により差止めさせていただきます。

お客様よりお客様情報の削除の申し出があった場合には速やかにこれを削除いたします。

Contents

1	ごあいさつ	6
2	ご使用前に	6
	2.1 付属品	6
	2.2 安全のために	6
	2.3 ユーザーマニュアル	7
	2.4 電源について	7
	2.5 輸送と梱包について	7
	2.6 クリーニング	7
	2.7 メンテナンスとサービス	7
3	設置	8
	3.1 開梱	8
	3.2 設置場所	8
4	接続	9
	4.1 本体部と電源部の接続	9
	4.2 信号入力ケーブルの接続	10
	4.3 出力ケーブルの接続	10
	4.4 アースの接続	11
5	操作方法	12
	5.1 電源を入れる	12
	5.2 動作状態にする	12
	5.3 ファンクションボタン	14
	5.4 入力選択	15
	5.5 MC入力の設定	16
	5.6 MM入力の設定	18
	5.7 再生を開始する	20
	5.8 再生を終了する	20
	5.9 スクリーンセットアップ	21
6	トラブルシューティング	22
7	スペック	23

1 ごあいさつ

この度は、Constellation Audio ANDROMEDA フォノプリアンプをお買い求めいただき、ありがとうございました。
ANDROMEDA は、究極のパフォーマンスと精密さを併せ持った優れた製品ですが、音質最優先の設計のために、通常のフォノプリアンプと異なり、ご使用には若干の注意が必要です。ANDROMEDAの性能を十分に発揮させていただくためにも、本書をよくお読みいただきますようお願い申し上げます。

2 ご使用前に

2.1 付属品

付属品が全て揃っていることをお確かめください。もし欠品しているものがある場合は、お買い求めになった販売店までお問い合わせください。

- ANDROMEDA フォノプリアンプ本体
- ANDROMEDA 電源部
- 電源ケーブル
- ユーザーマニュアル（本書）
- 保証登録カード

2.2 安全のために

以下の点を必ずお守りください。

- 本体部・電源部ともにしっかりとしたラックや台の上に設置してください。
- 電源部を本体部の上にじかに載せることは避けてください。
- 長時間のご使用により本体部ならびに電源部より熱を発生します。通風の悪い場所に設置することは避けてください。
- 本体部・電源部ともに水の近く、あるいは極端に湿度の高い場所に設置しないでください。また、本体部・電源部ともに液体に浸けることは避けてください。
- 直射日光の当たる場所には設置しないでください。また熱を発生する家電製品などの近くに置くことも避けてください。
- 本体部・電源部ともに、ご自身で筐体を開けることは避けてください。お客様ご自身の手により調整を必要とする部分はございません。

2.3 ユーザーマニュアル

ANDROMEDAの接続や操作を行う前に、本書をよくお読みください。お読みいただいた後は、手の届く場所に常に置いておいてください。接続や操作方法が不明な場合は、お買い求めになった販売店または輸入代理店までお問い合わせください。

2.4 電源について

電源電圧を正しく選択してください（日本国内向けは100Vです）。付属の電源ケーブルは、他の機器には使用しないでください。

ANDROMEDAの配線接続を行う場合や、クリーニングを行う場合、雷雨などの災害時、また長期間使用しない場合には、安全のため電源ケーブルをコンセントから抜いてください。

2.5 輸送と梱包について

修理などでANDROMEDAを輸送する際は、輸送時のダメージから守るために必ずオリジナルの梱包箱に入れてください。梱包材は乾燥した、清潔な環境で保管してください。

2.6 クリーニング

クリーニングの際は、柔らかく、乾燥したクロスを使用してください。洗剤などは絶対に使用しないでください。機器にダメージを与える場合があります。

2.7 メンテナンスとサービス

ANDROMEDAは、内部にサービスパーツを含んでおりません。機器を自身で開けること、改造すること、修理することは決して行わないでください。お客様ご自身の手で筐体を開けると、アフターサービス保証対象外となる場合があります。

ANDROMEDAを修理やメンテナンスする必要がある場合は、必ずお買い求めになった販売店までご依頼ください。

3 設置

3.1 開梱

アフターサービスなどANDROMEDAを輸送する必要がある際に必要となりますので、オリジナルの梱包材は保存しておいてください。

本体は重量がありますので持ち上げる際は十分注意してください。作業の際は必ず2人行うようお願いいたします。

梱包、設置の際は機器表面を傷つけないように十分気をつけてください。

3.2 設置場所

本体部・電源部ともに、しっかりとした水平なラックや台に載せてください。空気が適切に循環することを確認してください。

本体部・電源部ともに、特殊軟質樹脂でできた脚を介して設置されます。この軟質樹脂製の脚は十分な制振効果を持っておりますが、それでも、設置される場所はしっかりとしていることが音質的には望ましいことは言うまでもありません。

4 接続

4.1 本体部と電源部の接続

本体部と電源部から伸びている給電ケーブル（3本）で接続します。

※給電ケーブルは必ずACケーブルを外した状態で接続してください。

故障の原因となる恐れがございますので決して電源を入れた状態では給電ケーブルを抜き差ししないで下さい。

※ 注意

給電ケーブルは同一ではありません。コネクタの形状は似ていますが、ピンの本数が異なります。

コントロール回路用給電ケーブル（1本） : 6ピン

オーディオ回路用給電ケーブル（2本） : 3ピン

ご確認の上、接続ください。

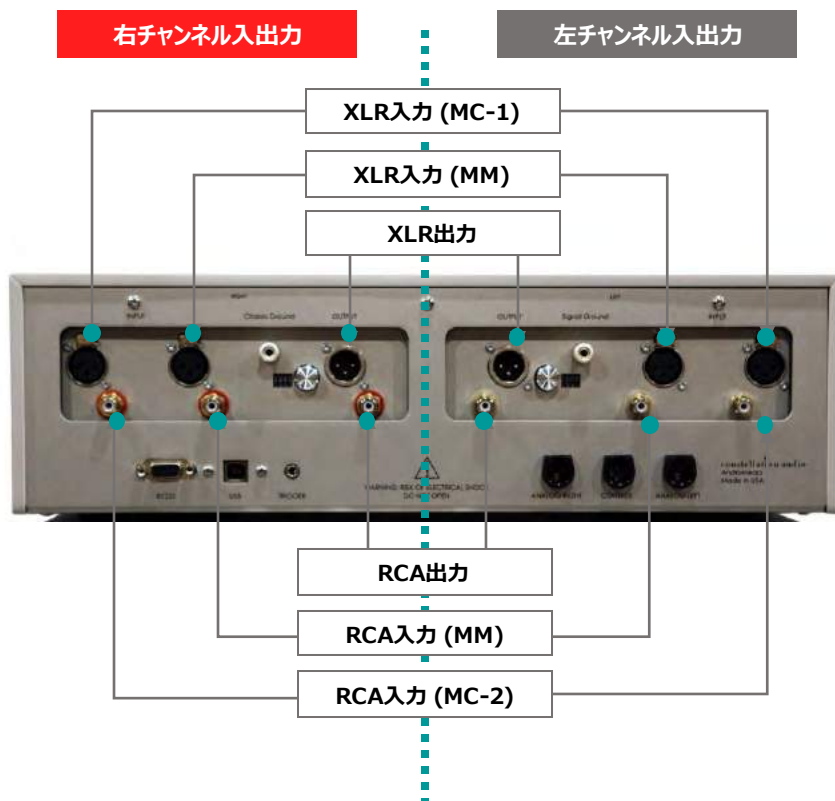


4.2 信号入力ケーブルの接続

- 本機はMC型カートリッジ用入力2系統と、MM型カートリッジ用入力1系統を装備しています。この各入力はいずれもバランス入力用のXLR端子と、アンバランス入力用のRCA端子を備えています。
- 本体背面の最も外側に配置されたXLR端子が **MC-1** で、その下に配置されたRCA端子が **MC-2** となります。
- 最も内側に配置されたXLR端子、及びその下に配置されたRCA端子がMM型カートリッジ用です。
- MC型もMM型も、XLR端子からの入力はそのまま本機のバランス回路で増幅されます。一方RCA端子からの入力は内部でバランス信号に変換後、同様にバランス回路で増幅されます。
- この計4組の端子に、必要に応じて入力信号ケーブルを接続します。ただしXLR端子のMC-1とRCA端子のMC-2は、回路上一つと組になっているので、同時にこの両端子に入力を接続することはできません。どちらか片方のみをお使いください。
- また同様に **MM** 用のXLR端子とRCA端子も、同時に入力を接続しないでください。

4.3 出力ケーブルの接続

本体背面にある、各1組のXLR端子とRCA端子は、ともに本機の信号出力端子です。ご使用のプリアンプなどの入力端子と結んでください。なお、XLRとRCAは必要に応じ選んでいただいても結構ですが、双方の同時使用は避けください。

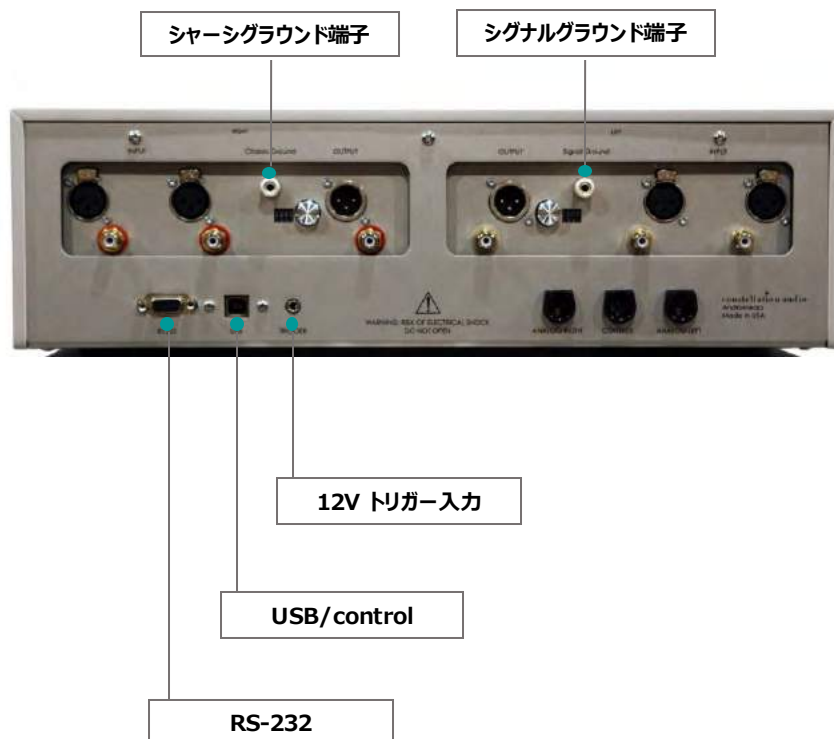


4.4 アースの接続

本体背面の左右中間付近に各1個ずつのアース端子があります。背面から見て右側が **シグナルグラウンド**。左側が **シャーシグラウンド** です。ハムノイズが生じる場合など、通常はトーンアームや昇圧トランスなどからのアース線をシグナルグラウンドに結びますがハムの要因は様々で対策もケースバイケースです。状況に応じてご活用ください。

シグナルグラウンド：トーンアームや昇圧トランスなどからのアース線を接続

シャーシグラウンド：プレイヤーなどからのアース線を接続



5 操作方法

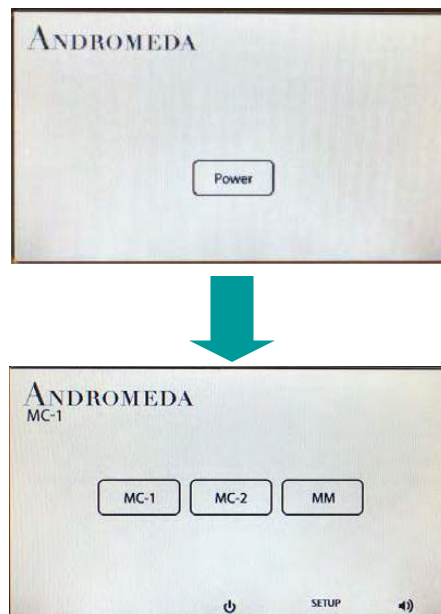
5.1 電源を入れる（メイン電源投入からスタンバイ状態に）

- すべての配線が完了していることを確認した後に、本体背面部のメイン電源スイッチをオンにします。
- 電源部にあるメイン電源スイッチを オン にすると、本体ディスプレイ部に **Standby**（スタンバイ）と表示されます。



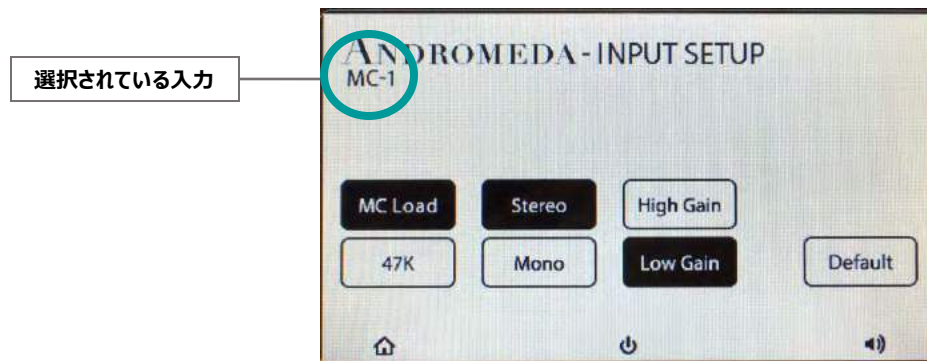
5.2 動作状態にする

- 本体部ディスプレイはタッチスクリーンとなっています。ディスプレイ上の **Power** 表示部をタッチすることにより、動作状態に切り替わります。
- スタンバイから動作状態に切り替わるのにおよそ90秒程度かかります。



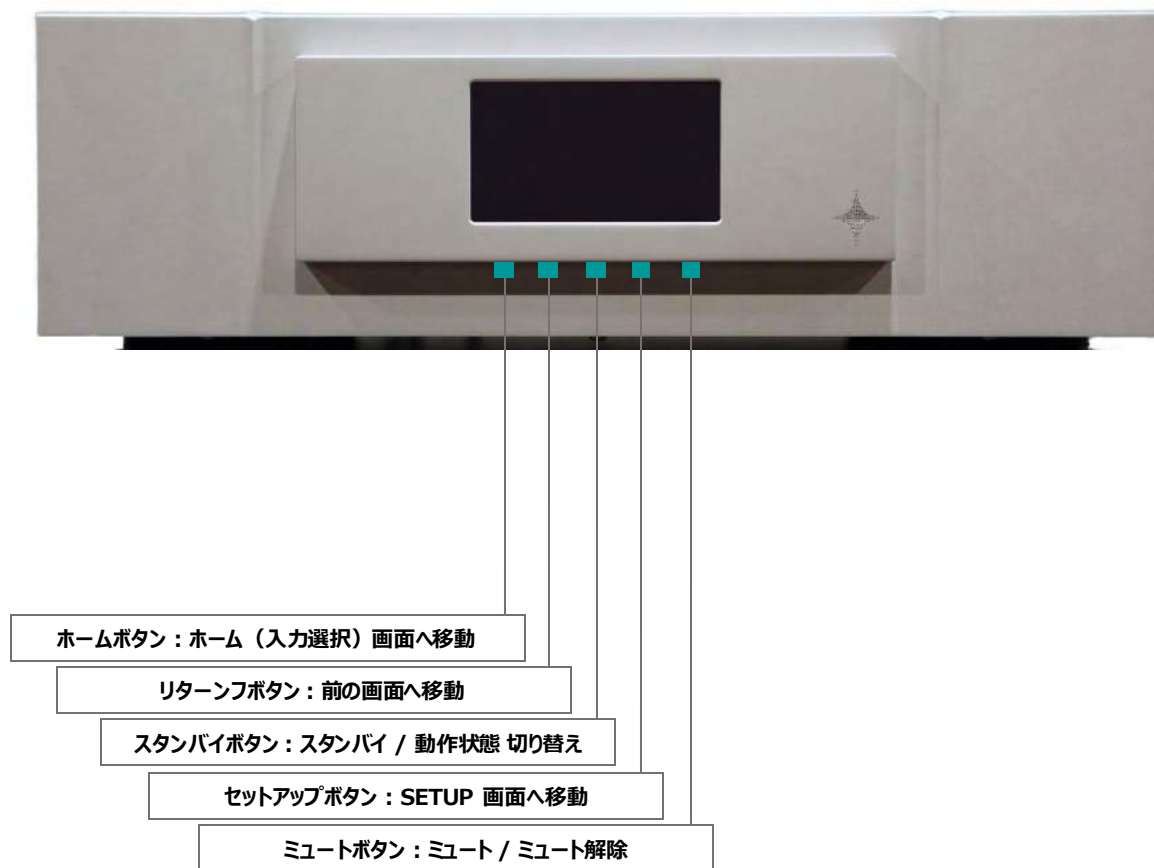
INPUT SETUP画面（起動時の画面）

- スタンバイ状態から動作状態に切り替わると **INPUT SETUP** の画面が表示されます。
- INPUT SETUP の画面には、最後に設定した内容が表示されます。
- お買い上げ後初めて動作状態に立ち上がった際は工場出荷状態の設定が表示されます。
- この画面では選択されている入力の設定ができます（詳細は p.14 – p.19 をご参照ください）。



5.3 ファンクションボタン

ディスプレイの下部には5個のファンクションボタンが設置されており、ディスプレイ上にそれぞれのボタンの機能が表示されています。



5.4 入力選択

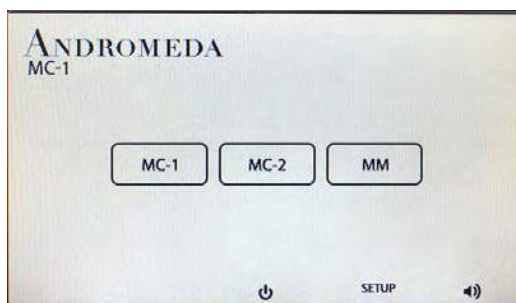
ホームボタンを押して、ホーム（入力選択）画面に移動し、入力を選択します。



MC-1 入力設定画面



ホームボタンを押す



入力選択画面



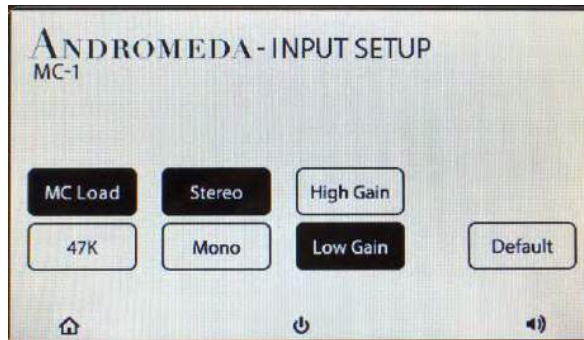
画面にタッチして入力を選択



MM 入力設定画面

5.5 MC入力の設定

INPUT SETUP画面からMC入力（MC-1 / MC-2）を選択すると下の画面が表示されます。



【ステレオ / モノの選択】

- **Stereo / Mono**のボタンをタッチしてください。現在の設定は黒いボタンで表示されます。
- **Apply**ボタンを押すと設定が保存されます。

【ゲイン設定の方法】

- **High Gain / Low Gain** のボタンをタッチしてください。現在のモードは黒いボタンで表示されます。
- 実際にお聴きになりながら調整することを推奨しております。Applyを押すと設定が保存されます。
- ANDROMEDAはソース機器のような出力レベルの選択ができます。

カートリッジの出力レベルが低いとき : **High Gain (71 dB)**

カートリッジの出力レベルが高いとき : **Low Gain (65 dB)**

- 実際にお聴きになりながら調整することを推奨しております。

【MC負荷抵抗値の設定】

- **MC Load / 47K** ボタンをタッチすることで、負荷抵抗値の設定方法が選択できます。

47K : 標準で負荷抵抗値47KΩが設定されます

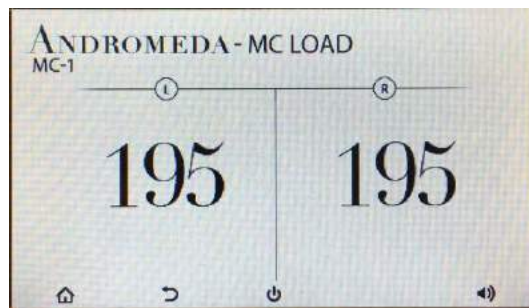
MC Load : 0 – 999 Ω の範囲で負荷抵抗値を設定できます

【MC Load 設定について】

- MC型カートリッジはそれぞれ固有の内部抵抗を有していますが、受け側の負荷抵抗値がそれと全く同じ数値の必要はなく、受け側の数値がそれより大きければ問題ありません。ただし受け側の数値がカートリッジ側の数値より小さい場合は、性能が十分に発揮されないため、必ずカートリッジ側の数値より大きい値を設定してください。
- MC型カートリッジには内部抵抗10 Ω以下のロー・インピーダンスタイプ/40～50 Ω程度までのミドル・インピーダンスタイプ/それ以上のハイ・インピーダンスタイプなどがありますが、いずれを使う場合にも、通常は負荷抵抗200～300 Ωの設定で問題ありません。しかし、さらに高めの設定などにより生じる、高域特性の変化をお楽しみいただくのも結構です。
- 本機の MC Load 設定は前記のように L/R 独立であり、また、表示の数値は環境変化などに極めて敏感な高性能素子の抵抗値をリアルタイムで示しているため、表示値が目的数値どおりで、しかもL/R同一に設定するのは容易ではありません。しかし、その誤差が目的数値の10%以内程度であれば、全く問題はありせん。

【MC Load 設定方法】

- **INPUT SETUP** 画面の **MC Load** ボタンを押すと、次ページの画像のような画面が表示されます。これは現在の負荷抵抗値です。リアパネルにある MC Load 調整ノブを回すと負荷抵抗値を調整できます。20 Ω から1 Ω / sec ごとに調整できます。次の 50 Ω からは 4 Ω / sec で設定できます。それ以上の値の場合 10 Ω / sec で設定できます。
- 数値の設定が終了したら、**リターンボタン**を押して元の画面に戻してください。



5.6 MM入力の設定

- INPUT SETUP画面からMM型カートリッジを選択すると下の画面が表示されます。Applyで決定、Defaultで初期設定に戻ります。

【stereo/mono設定】

- StereoかMonoを選択します。Applyで決定、Defaultで初期設定に戻ります。

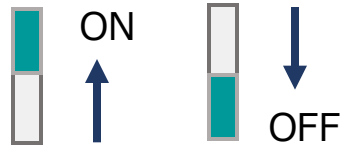


【MM Loadの設定】

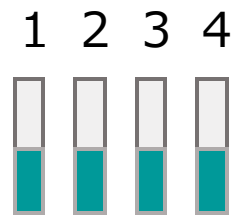
- リアパネルにあるディップスイッチを切り替えることで、負荷抵抗値の調整ができます。
- 下の表に従って、ドライバーなどの先端が細いものでスイッチを切り替えてください。下図のようにスイッチの位置が上でON、下でOFFです。
- お持ちのカートリッジの推奨値、または音楽をお聴きになりながらお好みでご設定ください。
- 負荷抵抗値とスイッチの位置の組み合わせは次ページの表の様になります。



ディップスイッチ (2箇所)



ディップスイッチのON/OFF



ディップスイッチの番号

負荷容量

スイッチ1	スイッチ2	数値
OFF	OFF	負荷容量なし
ON (OFF)	OFF (ON)	100 pF
ON	ON	200 pF

負荷抵抗

スイッチ3	スイッチ4	数値
OFF	OFF	47 K Ω
ON	OFF	33 K Ω
OFF	ON	10 K Ω
ON	ON	設定なし

5.7 再生を開始する

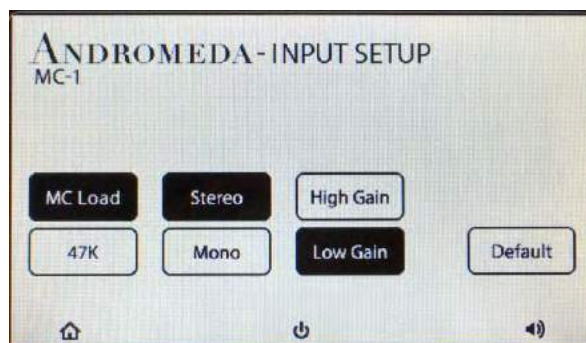
これで全ての接続と設定が終了したので、いつでも再生を開始することができます。ただし再度電源を投入した場合は出力がミュートされているため、ミュートを解除してください。



ミュート / ミュート解除ボタン

5.8 再生を終了する

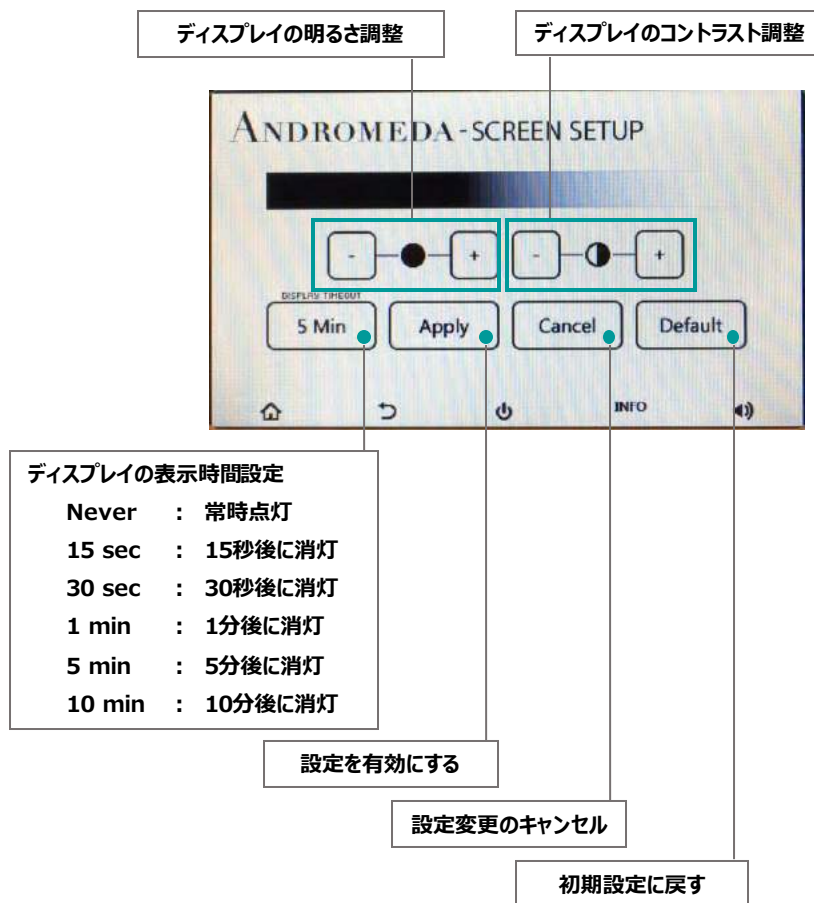
- 再生を終了するときは、ディスプレイ下部の中央にある **スタンバイボタン** を押してください。
- ディスプレイには Powering Off の文字が浮かび、そのまま約10秒間のクールダウンに入り、すべての操作は不能になります。
- クールダウンが終了するとディスプレイはタッチスイッチ画面になり、その数秒後にディスプレイは消灯します。（スタンバイ状態）。この状態で本機には微弱な電流が流れています。普段お聴きにならないときもメイン電源をオフにせず、このスタンバイ状態にしておくことをお勧めします。
- また消灯したディスプレイに触れるとタッチスイッチ画面が再び点灯しますが、この場合ディスプレイ調整画面で設定したディスプレイ表示時間に基づき消灯いたします。消灯した状態ではタッチスイッチ画面の機能は使用できませんので、再度ディスプレイにタッチしてディスプレイを点灯させてから操作ください。
- ご旅行などで数日間ご使用にならないなどの場合は、電源部のメイン電源スイッチをオフにしてください。



スタンバイボタン

5.9 スクリーンセットアップ

- ホーム画面時に **SETUP** ボタンを押し、設定画面に入ることにより、ディスプレイの輝度やコントラスト、点灯時間などが設定可能です。
- 設定終了後かならず **Apply** を押ししてください。 **Apply** を押すことで設定が有効になります。



6 トラブルシューティング

<p>ユニットの電源が入らない</p>	<p>次のことを順番に試してみてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ANDROMEDAの電源部およびコンセントに電源ケーブルがしっかりと刺さっていることをご確認ください。 2. ANDROMEDA本体および電源部に給電ケーブルがしっかりと刺さっていることをご確認ください。 <p>給電ケーブルを抜き差しする際は、必ずメイン電源スイッチをOFFにしてから行ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. 電源部の背面にある電源スイッチがONになっていることを確認してください。 4. ANDROMEDAがACラインコンディショナーに接続されている場合、ACラインコンディショナーの電源が入っていることをご確認ください。 5. 電源コードを変えてみてください。
<p>音が出ない</p>	<p>次のことを順に試してみてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 入力に対する各端子の差込口があっているかご確認ください。MC1はXLR入力、MC2はRCA入力です。 2. ターンテーブル上のレコード表面にしっかりと針が当たっていることをご確認ください。 3. MC入力を選択している場合、MC LoadボタンをタッチしてMC Load 設定値を確認ください。設定値が「000」になっていないことをご確認ください。 4. システムのソース機器からスピーカー間のケーブルが、それぞれしっかりと接続されていることをご確認ください。 5. プリアンプ等のボリュームが十分に上がっていることをご確認ください。 6. ミュートがオンになっていませんか。
<p>音が左右逆に聞こえる</p>	<p>使用するシステムのソース機器からスピーカー間のケーブルが全て左右正しく接続されていることをご確認ください。</p>
<p>片方のスピーカーからしか音が出ない</p>	<p>使用するシステムのソース機器からスピーカー間の、音が出ない方のケーブルが全てしっかりと接続されていることをご確認ください。</p> <p>また、ANDROMEDAへの入力は、MC1とMC3はXLR入力、MC2とMC4はRCA入力です。左右の双方が同じチャンネルに接続されていることをご確認ください。</p>
<p>再生音にハムノイズが入る</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ターンテーブルとANDROMEDA間のグラウンド端子がしっかりと接続されていることをご確認ください。 2. 標準的には、トーンアームのグラウンドをシグナルグラウンドへ、ターンテーブルのモーターグラウンドをシャーシグラウンドへ接続することが推奨されます。 <p>それでも過度のハムノイズが発生する場合、シグナルグラウンドにターンテーブルやトーンアームを接続し、ACコンセントのセンタープレートのネジをシャーシアースに接続することで、解決することがあります。</p> <p>また、シグナルグラウンド端子とシャーシグラウンド端子を接続してみるなどの方法をお試しください。</p>

上記手順を行った上で問題が解決しない場合、当社もしくはお買い上げいただいた販売店までご連絡ください。

7 スペック

Inputs	2 MC (XLR or RCA), 1 MM (XLR or RCA)
Outputs	1 stereo XLR, 1 stereo RCA
GAIN, B & UB	65 dB max
THD + N	<0.008% 10Hz - 20kHz
Frequency response	+/-0.10db 10Hz - 20kHz
Output noise	-96 dB re 2V output, 20 Hz to 20 kHz
Load impedance	MC inputs 0Ω - 999 Ω
Load impedance	MM input 10 kΩ - 47 kΩ
Load capacitance	MM input 0 or 100pF or 200pF
Output impedance, B & UB	< 50 Ω
EQ curve	RIAA
Dimensions・Weight Preamp	432 x 133 x 381 mm (whd) 20.4 kg
Dimensions・Weight Power supply	445 x 72 x 368 mm (whd) 10 kg